

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

授業計画書の作成・公表に係る取組の概要

シラバスは例年の授業内容を省みて作成していく。

前年度、学生の理解が得にくかった部分などがあれば、授業の進行速度・内容を改めたシラバスを作成し、次年度の4月の更新時に修正する。

また、国家試験課題である学科科目・実技科目のすべてにおいて、教科書や配布物、校内の期末試験・卒業試験の結果、近年の国家試験の結果と出題傾向等を確認しながらシラバスの作成と見直しを行う。

国家試験課題ではない科目においては、資格取得の為の検定があればその出題傾向を分析し、検定の合格も重点においたシラバスを作成する。

そのほか、教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会での意見や美容サロン様からの情報を元に、今後美容界で必要となる新たな知識・技術等や、求められる人材像を把握し、該当する各科目のシラバスに反映させる。

作成は本校教員の学科担当者と担任及び教務主任が行い、校長の確認を得て確定させる。その後4月に、本校のホームページ内の情報公開ページの『(2)カリキュラム』の項目にて掲載し、誰でも閲覧が可能な状態で公表することとしている。

授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

成績評価の方法・基準としては、主に試験の結果を取り入れることとしている。

学科試験・実技試験ともに、1・2学期には期末試験、3月には進級試験あるいは卒業試験を行っている。学科試験については各教科の担当教員が、授業を行った範囲までの中で、美容師国家試験の過去の問題を参考に試験問題を作成する。実技試験については、その学年に関わる教員が複数人で採点し、割り出した平均点をその学生の点数としている。採点基準の統一を図るため、美容師国家試験をもとにしたチェック項目を教員で共有し、採点に使用している。また、校内に在籍している国家試験委員の意見も取り入れている。

学科試験・実技試験ともに、60点未満を赤点とし、追試試験を行っている。

そのほか、授業態度、出席日数、試験結果の分析により、単位認定不可の可能性や学修意欲の低下が見られるようであれば、本人・保護者・担任の3者面談を行い、進路の確認、今後についての相談、不安点の解消などの指導を行っている。(場合によっては、校長・教務主任・学年主任のいずれかも同席した面談、あるいは本人のみとの2者面談も行われる)

単位修得には、試験結果が60点以上であることのほか、学則で定めた学科科目・実技科目の各授業時間数の出席率が100%であることとする。

客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

成績評価の客観的な指標の設定としては、各学年の3学期の修了式あるいは卒業式が終了した後、学科科目・実技科目ともに1学期期末試験、2学期期末試験、進級試験あるいは卒業試験の試験結果において各科目の平均点を割り出し、100～90点をAA、89～80点をA、79～65点をB、64点以下をCと評価する。

評価された成績は、3月下旬～4月中旬に課程・科・学年で分けて科目毎に分析することとする。分析すると共に分布図を作成し、学生の理解の傾向や学生全体を通しての苦手科目の把握を行ったうえで、シラバスの作成や今後の美容師国家試験の授業対策に役立てることとしている。

公表方法としては、本校のホームページ内の情報公開ページの『(2)カリキュラム』の『厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について』にて客観的な指標の算出方法を掲載し、誰でも閲覧が可能な状態で公表することとしている。

この評価方法は、各学生が就職希望先に提出する成績表にも摘要され、毎年変わることはない。

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

進級については、以下の条件のすべてを満たさなくては進級が出来ない。

学則で定めた学科科目・実技科目ともに、3学期末に行われる進級試験で60点以上を取得して合格すること。また、全科目の欠課時間数の合計が60時間以内であることとする。

次に、卒業については、以下の条件のすべてを満たさなくては卒業が出来ない。

学則で定めた学科科目・実技科目ともに、3学期末に行われる卒業試験に60点以上を取得して合格すること。また、学則で定めた2010時間以上としている履修時間数の出席数が、100%に満たしていること。(不足していれば補習で補う)また、提出物を全て提出しており、授業料に未納がないこととする。

修業年数は、専門課程総合美容科については2年、専門課程一年制トータル科については1年とし、修業年数内で卒業が不可能な場合は、留年となる。

公表方法としては、本校のホームページ内の情報公開ページの『(2)カリキュラム』の『厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について』にて、誰でも閲覧が可能な状態で公表することとしている。